

土佐清水市経済団体連絡協議会からの要望の概要【商工労働部】

1 回答方法	<p>令和4年2月24日付け文書により回答 ※本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により書面で回答</p>
2 要望概要	<p>【要望事項1】 魅力あるまちづくりに向けた中心市街地振興施策の充実を要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「土佐清水市中心市街地商業振興計画」の商店街振興組合、商店等、行政、商工会議所が一体となった効果的な推進 ・チャレンジショップを活用し、創業支援および中心市街地の若手商業者の独立・業種業態転換支援により定着率を向上 ・空き店舗対策と個店の店舗魅力向上によって集客力を高める一方で、観光客にも立ち寄ってもらえる環境整備の促進 <p>【回答1】 魅力あるまちづくりに向けた中心商店街等の活性化については、「土佐清水市まちづくり検討・実施会」の皆さんとともに「土佐清水市中心市街地商業振興計画」のアクションプランに位置づけた取組を進めているところです。</p> <p>今年度も、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、集客を伴うイベント等は実施できませんでしたが、チャレンジショップでの商業者の育成や、地元住民の生活を支える「えぶりでいキッチン」の運営等をしっかりと継続していただいております。</p> <p>また、こうした商店街の皆さまのこれまでの取組が高く評価され、今年度、中央町商店街振興組合が中小企業庁が選定する「はばたく商店街30選」に選ばれたものと認識しています。</p> <p>今後も、チャレンジショップでの商業者の育成や、空き店舗での新規出店の促進により、若手商業者の独立・定着に繋げていただくとともに、ウィズ・アフターコロナを見据えて、観光客を中心商店街に呼び込むイベントの開催や、地域電子通貨「Meji-ca」の活用等による個店の魅力向上など、市や商工会議所と連携して、皆さまとともに活性化に向けた取組を進めていきたいと考えております。</p> <p>引き続き、商店街等振興計画推進事業等により、計画の確実な実行を支援するとともに、空き店舗の活用促進に向けた支援や、中小企業の経営力底上げを目指した事業者のデジタル化等についても、土佐清水市や商工会議所としっかりと連携して取り組んでまいります。</p> <p>併せて、国が行う経済対策についても効果的に活用していただけるよう、情報提供や活用に向けた助言、アドバイスにも努めてまいります。</p>

【要望事項 2】

既存の商工会議所について、南海トラフ地震による津波浸水予測や倒壊が危惧される中、会館の高台移転が喫緊の課題であることから、県当局の助言や移転の際の財源確保について支援をお願いします。

【回答 2】

商工観光会館の高台移転に係る財源の支援については、これまでも他の商工会や商工会議所から同様のご要望をいただいていたが、県としては財源の確保が難しいことから、代替施設への移転等をお願いしてきたところです。

なお、国や県では、商工観光会館に類する施設の移転等を主とした補助制度はないものの、単なる移転等だけではなく、移住促進や観光施設、まちづくり等を目的とした地方再生計画書を策定し、国の認定を受けることで、一部該当する場合がありますので、今後ご相談があれば、商工会議所や土佐清水市と一緒に検討していくことは可能だと考えています。

また、商工観光会館の移転等の検討と併せて、南海トラフ地震発生直後、速やかに相談窓口が再開できることが重要ですので、商工会議所のBCPの見直し、更新について市との協議を進めていただき、管内事業者の事業継続力強化を支援するための計画も作成していただくようお願いいたします。